

# 電気通信事業の自由化とコンピュータ間通信

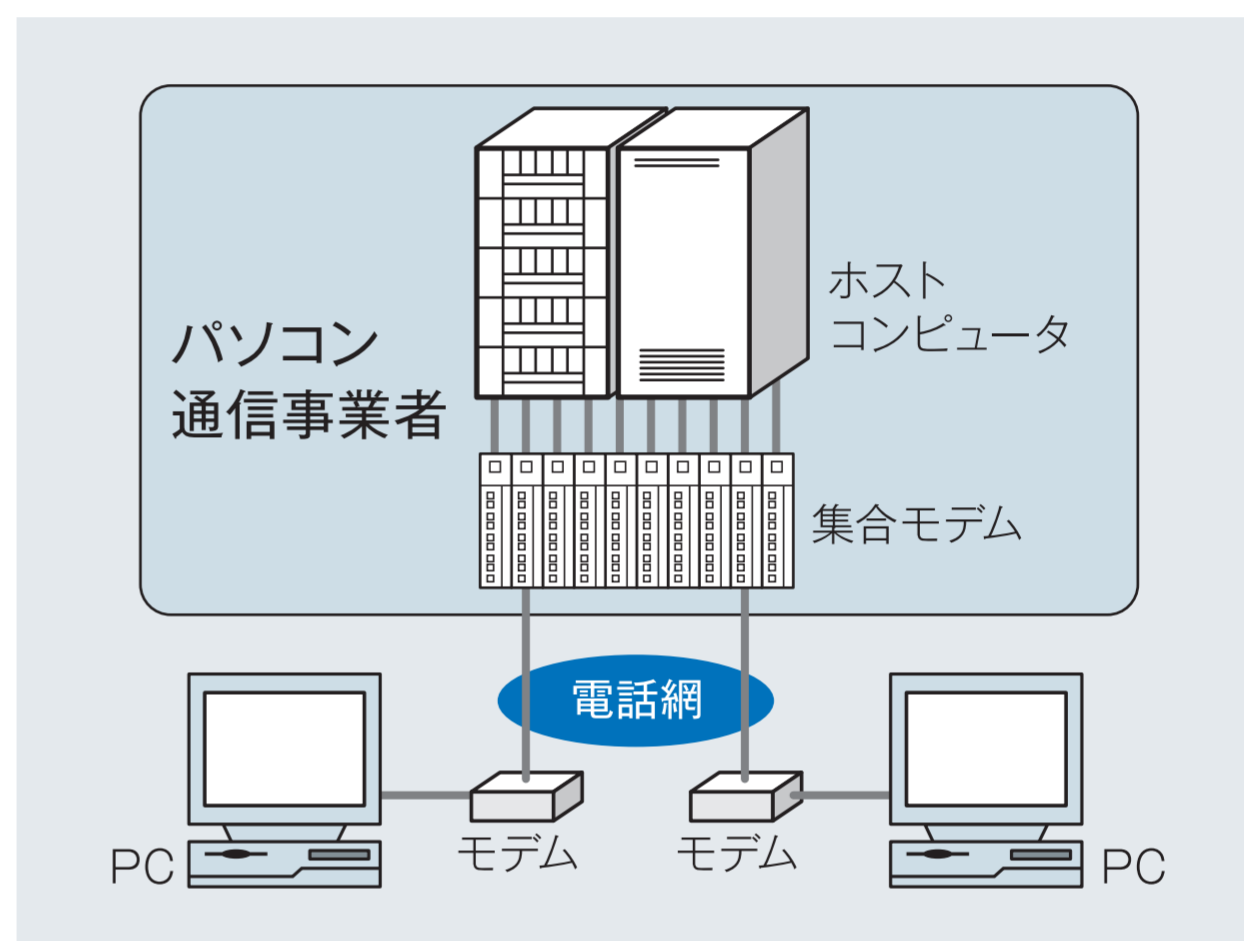
## Deregulation of telecom service and computer network

### パソコン通信のはじまりからインターネットへ

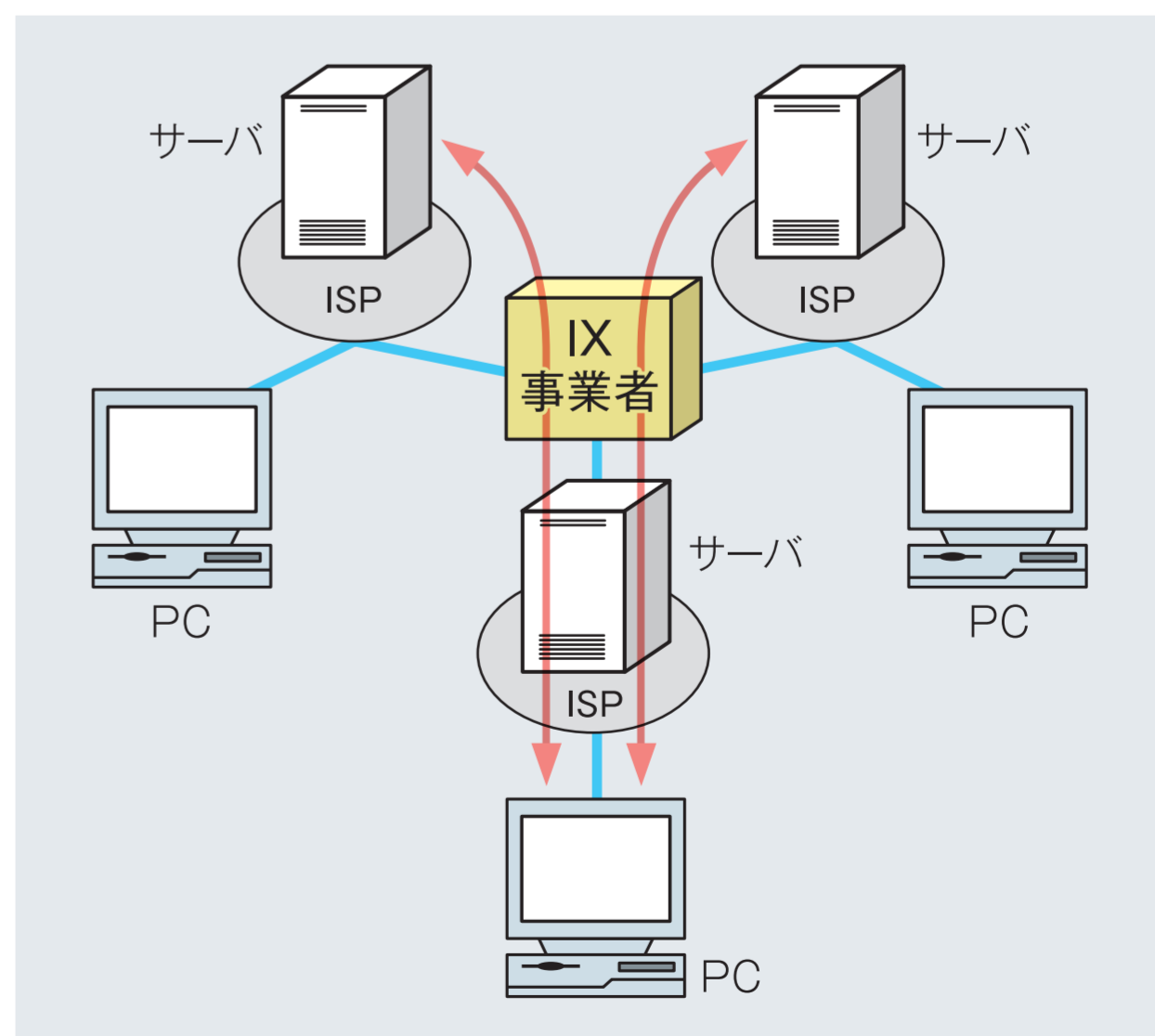
1985年4月に電気通信事業法が改正され、日本電信電話公社の民営化（NTTの誕生）とともに、電気通信事業が民間に開放されました。これを機に設立されたNTTPCコミュニケーションズは、翌1986年11月よりパソコン通信サービス「NTTPCネットワーク」を開始しました。

電話交換とパケット交換のノウハウを使い、郵政省（現総務省）推奨方式（JUST-PC手順）の自社開発モデム（「PC L/CU」）を使っていたのが特徴です。当時は一般的なモデムの通信速度が1200bps程度で、テキストデータが中心でしたが、このモデムは4800bpsでの通信が可能で、バイナリデータも扱うことができました。その後、無手順方式のモデムの普及とともにパソコン通信は広く使われるようになりました。パソコン通信の本格的な活用は10年程度でしたが、インターネットによる情報化社会の可能性を示す役割を果たしました。

JUST-PC : Japanese Unified Standards for  
Telecommunications - Personal Computer  
ISP : Internet Service Provider  
IX : Internet eXchange



パソコン通信の概念図



インターネットの概念図